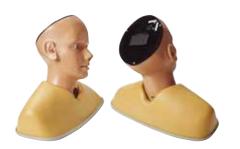
Adam, Rouilly

SERVING MEDICAL EDUCATION WORLDWIDE



AR402/AR402-B

210402 デジタル耳診察トレーナー



ユーザーガイド



この取扱説明書をご使前によくお読みになり、大切に保管してください。

スキル

耳鼻咽喉科の名誉教授であるトニー・ライト教授と共同で開発された新しい AR402 デジタル耳診察トレーナーは、耳の検査において最も現実的なトレーニング体験を 容易にするように設計されています。

高解像度のデジタルスクリーン技術を使用して、48の一般的な耳の状態と そうでない耳の状態に加え、解剖学的に正確な耳の構造が含まれており、 耳の検査と耳鏡の使用のための包括的なトレーニングソリューションを提供します。

特長

- セットアップが容易で使いやすい
- 柔らかく柔軟でリアルな耳介と外耳道
- 高解像度デジタル表示
- 耳の症例に合わせたデジタル制御で使いやすい
- 症例番号の表示を隠すための試験用カバー
- 単3電池または電源アダプターでの稼働に対応
- 電力を節約するためのスリープモード搭載

目次

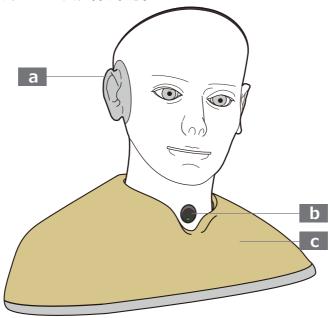
名称 — 付属品	4 5
はじめに - 付属の電源アダプターを使用する - 電池を使用する - 電源を入れて症例を選択する - 試験用カバーを使用する	7 7 9 9
ご使用に際して- 耳鏡の使用と柔軟な耳介- スリープモード- ローバッテリー表示	11 11 13
ご使用後は - 付属の硬質キャリーケースを使用する	13

安全のための注意事項

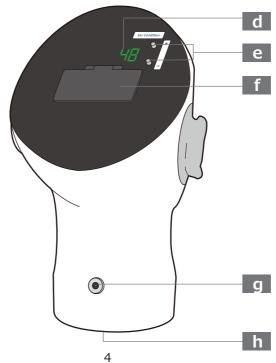
- 耳の症例デジタル画像は、耳鼻咽喉科名誉教授Tony Wright教授の著作権です。これらの画像は、AR402デジタル耳診察トレーナーとの併用のみを目的としています。これらの画像は、事前の同意なしに、抽出、コピー、販売、展示、投影、いかなる形式でも複製することはできません。
- トレーナーには繊細な電子部品が含まれています。熱のある場所や、極端な温度、湿度、磁場のある場所には保管しないでください。
- 付属の低電圧電源メインアダプターのみを使用してください。他のアダプターを使用 すると、モデルが破損し、保証が無効になる場合があります。
- 表示されているように、電池収納部には単三電池4本(付属していません)のみを使用してください。他のタイプやサイズの電池は使用しないでください。他のサイズの電池を使用すると、モデルに損傷を与えたり、保証が無効になったりすることがあります。
- 低電圧ケーブルが破損している場合は、アダプタを使用しないでください。 ケーブルを修理できない場合は、アダプタを交換する必要があります。
- トレーナーの電源を落としたり、バッテリーを取り付けたまま長時間放置したり、 保管したりしないでください。保管する前には必ず電池を取り外してください。
- トレーナーには、ユーザーが修理可能な部品は含まれていません。トレーナーを分解しないでください。破損の原因となり、保証が無効になることがあります。
- ボタンに無理な力を加えたり、トレーナーを逆さにしたりしないでください。 破損の原因となり、保証が無効になることがあります。
- トレーナーの電源には再充電可能な電池を使用することができます。 ただし、付属のメインアダプターでの再充電はできませんのでご注意ください。
- トレーナーには患者さんと同じように接してあげてください。

名称

前面(ショルダーベース装着の状態)



背面(ショルダーベースから外した状態)



- a 診察用の柔軟性のある右耳
- **b** 主電源(緑色のインジゲータランプ付き)
- c 取り外し可能なショルダーベース
- ₫ 症例番号表示LEDディスプレイ
- e 症例番号アップ(+)、ダウン(ー)
- f 試験用カバー
- 低電圧電源ジャック
- 電池(単三電池×4)収納部 ※電池は付属しません

付属品

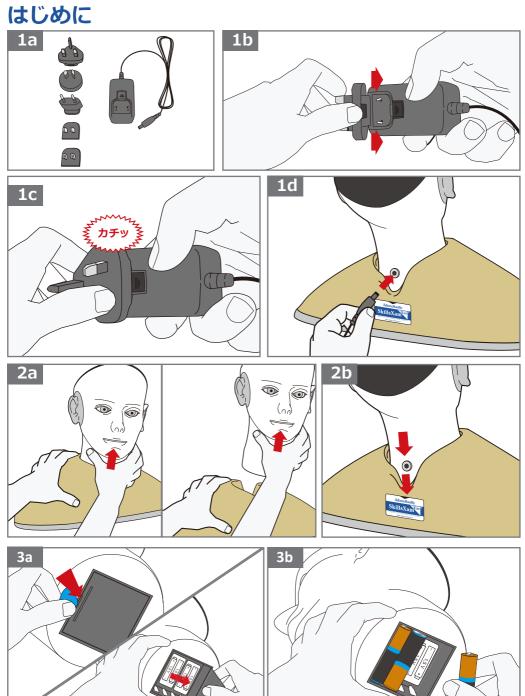
ワールド変換プラグの固定具付の低電圧カアダプター

S403/7 電池収納部オープニングツール(青いピック)

S402/9 硬質キャリーケース



交換部品が必要な場合は、該当するコードを引用し、 販売代理店にお問い合わせください。



付属の電源アダプターを使用する

ご使用は清潔で水気のない場所であることを確認してください。 トレナーは安定して平らな場所においてください。

- 1a 最初にご使用になる前に、まず付属のものの中からお住いの地域の主電源に適したコンセントプラグの形状の固定具を選択してください。
- 1 h アダプタの根元にある大きなキャッチでプラグ固定部を先に差し込んでください。
- 1C 固定具の上部にある小さな長方形の溝を合わせて、これをアダプターに押し込み、スプリングラグにカチッとはまるようにします。
- 1d アダプターからの低電圧ケーブルをモデル背面の電源ジャックに差し込みます。 低電圧アダプターをコンセントに差し込みます。

これでシミュレータが使えるようになりました。

ショルダーベースを取り外す

ショルダーベースは、シミュレーター使用中に、モデル頭部に正しい角度をつけます。頭部をベースから取り外すことで、電池交換ができます。

- 2a 取り外すには、片手をショルダーの付け根にしっかりと当ておさえます。 もう片方の手を顎の下にしっかりと当てて頭部をつかみ、引き上げます。
- 2b 頭部を再び取り付けるには、手順を逆にします。 AC電源ジャックがショルダーベース後部にあるラベルの位置と 一致していることを確認します。

雷池を使用する

こののモデルは単3形乾電池4本(別売)で駆動することもできます。



表示されているように、電池収納部には単三電池4x4本(付属していません)のみを使用してください。他のタイプやサイズの電池は使用しないでください。他のサイズの電池を使用した場合、モデルに損傷を与える可能性があり、保証が無効になります。

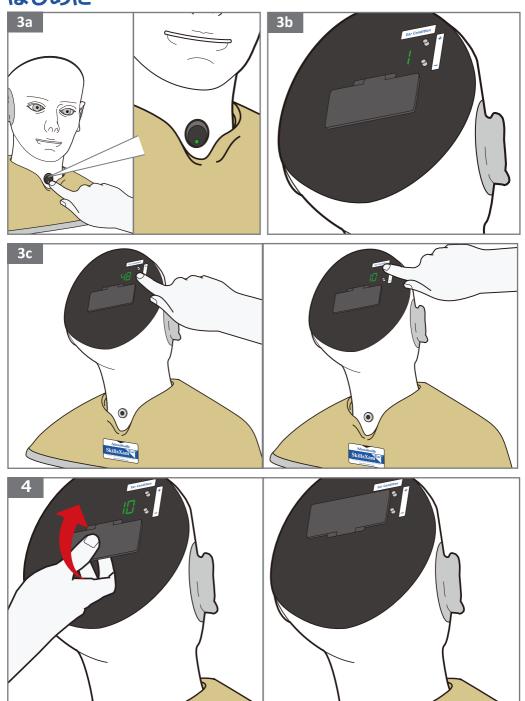


トレーナーの電源を落としたり、電池を取り付けたまま長時間放置したり、保管したりしないでください。保管する前には必ず電池を取り外してください。

- トレーナーの電源には再充電可能な電池を使用することができます。 ただし、付属のメインアダプターで再充電はできませんのでご注意ください。
- **3a** 付属の青い工具(ピック)を、収納部の側面にある小さなスロットに差し込んで、シミュレーターの底部にあるバッテリー収納部を開きます。
- 3b バッテリー収納部内のイラストに示されているように、単三電池4x4本(付属していません)を 取り付けます。電池収納部の蓋を取り付けます。

これでシミュレーターが使えるようになりました。

はじめに



電源を入れて症例を選択する

電源スイッチを使用してモデルの電源を入れます。 スイッチの緑色のインジケータランプが点灯します。

電源が入らない場合は、バッテリーが正しく取り付けられており、十分な電力があることを 確認するか、低電圧ケーブルが正しく接続されており、主電源が入っていることを 確認してください。

3b 少し経つと、LED表示ディスプレイに「1」が表示されます。 モデルの耳に症例番号「1」が表示されていることを示します。

本機の電源を切ってから、再度電源を入れると、モデルの耳の状態は 自動的に症例番号「1」に初期化されます。

3c このシミュレーターは、48の症例を任意に設定することができるます。

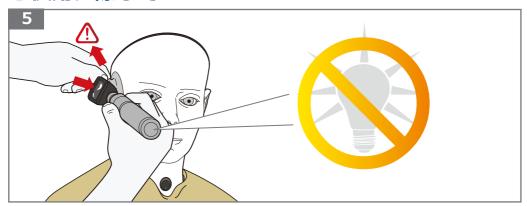
症例の設定は、希望する症例番号が LED ディスプレイに表示されるまで、 上(+)または下(-)ボタンを押して行ってください。

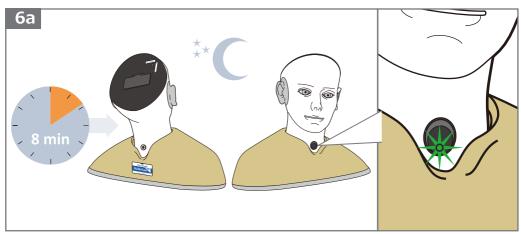
試験用カバーを使用する

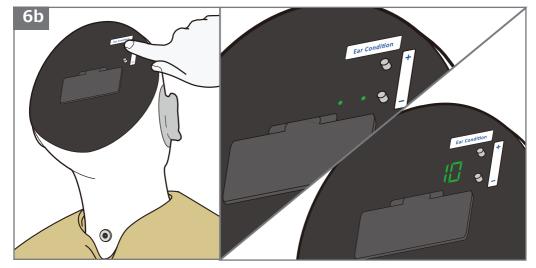
症例番号を表示するLEDディスプレイを、必要に応じて非表示にすることができます。

使用するには、ヒンジ式の試験用カバーをLEDディスプレイの上にかぶせ 表示をふさぐだけです。

ご使用に際して







耳鏡の使用と柔軟な耳介

5

耳鏡(付属していません)を使用して、それぞれの状態を見ることができます。 - 外耳道に注意して鏡筒を挿入します。

柔軟性のある耳介は、外耳道をまっすぐにするために操作することができます。



症例をよりわかりやすく表示するためには、耳鏡のライトを「オフ」に設定することを お勧めします。



患者さんと同じようにモデルの耳を取り扱ってください。過度の力が加わると、破損の原因となることがあります。

スリープモード

このモデルには、電力を節約するためにすべてのディスプレイをオフにする 自動スリープモードが搭載されています。

電池またはAC電源のどちらかを使用している場合でも機能します。



スリープモード中は、選択した最後の症例の状態を記憶したままとなります。

6a 新たな症例が選択されていない状態が、約8分間続くとメイン内部表示とLEDディスプレイ表示が 消灯します。

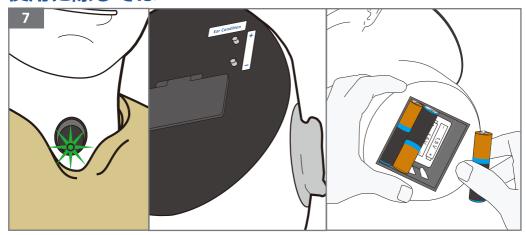
電源スイッチの緑色の電源ランプが点滅し、スリープモードが動作していることを示します。

6b スリープモードの解除は、上(+)または下(-)ボタンを1回押すだけです。

少し経ったら、LEDディスプレイ表示に「●」が2つ表示され、 最後に選択した症例番号で再開します。

これで、モデルはまた使えるようになります。

使用に際しては



ご使用後は



ローバッテリー表示



モデルが正常に機能するために電池の電力が不足している場合、 電池残量が少ないと表示されることがあります。

モデルの電源が入りと緑色の電源表示灯が点灯しても、LEDディスプレイとメイン状態表示は消灯したまま起動しません。

モデルの電源を切り、電池を交換してください。



トレーナーの電源を落としたり、電池を取り付けたまま長時間放置したり、 保管したりしないでください。保管する前には必ず電池を取り外してください。

付属の硬質キャリーケースを使用する



使用後、または輸送前には、付属の硬質キャリングケースをり利用し、シミュレーターは ショルダーベースに頭部を取り付け直立したた状態で収納してください。



シミュレーターには、繊細な電子部品が含まれています。 熱のある場所の付近や、極端な温度、湿度、磁場のある場所での保管しないでください。

Adam, Rouilly

このマニュアルは、あくまでも本トレーナーの状態を知るためのガイドとして作成されたものであり、 治療計画を立てるための診断ツールではありません。

また、このマニュアルは、Adam,Rouillyデジタル耳診察トレーナーのこれまでのすべての版に取って代わるものです。

©

症例のデジタル画像は、耳鼻咽喉科名誉教授Tony Wright教授の著作権です。 これらの画像は、AR402デジタル耳診察トレーナーとの併用のみを目的としています。 これらの画像は、事前の同意なしに、抽出、コピー、販売、展示、投影、 いかなる形式でも複製することはできません。



医学教育機器事業部

〒113-0033 東京都文京区本郷3-42-1 TEL:03-3815-2354 FAX:03-3818-6843 www.medical-sim.jp E-mail:igaku@nlsinc.co.jp